

日本国憲法の真髓を世界へ

# 今年、憲法施行60周年

世界で前進する平和の流れ

## 世界の流れに逆行する 安倍政権

2007年、新しい年が始まりました。人々の願いは、平和な世界です。ところが、1月4日に新年の挨拶を行った安倍首相は、「美しい日本」をうたい文句に、「憲法改正」を参議院選挙の争点とすることを打ち出しました。

安倍内閣がねらう「憲法改正」は、アメリカの要求に応じて、アメリカと一緒に海外で日本が戦争する国づくりにあります。

今の世界を見て、軍事同盟を強化し、海外に軍隊を派兵する体制を強化することに熱中する国は、日本以外なかなか見当たりません。安倍内閣は、「美しい国」どころか世界から見ると異様な国づくりをすすめているのです。

## 窮地に立たされるブッシュ政権

イラクでは、アメリカの侵略と占領が悲惨な状況をもたらし、今やアメリカ国内でも7割がブッシュ政権のイラク政策を批判しています。昨年の中間選挙に破れ、窮地に陥ったブッシュ政権は政策の見直しを迫られています。

スペイン、イタリアではアメリカのイラク侵略を支持した政権が交代し、イラクから撤兵しました。ブレア英首相も、「イラク侵攻は恐るべき誤り」（英王立国際問題研究所所長）と批判され、辞意を表明し、英軍撤退に動かざるを得ません。

北朝鮮の核問題をめぐっては、再開された6カ国協議が年明けにもちこしになり、外交で解決しようという粘り強い努力が続いています。

今日の世界は、一国が軍事を使って思いのままに支配できる世界ではありません。

今こそ、憲法9条を持つ日本が、世界の中で積極的役割を果たすことが求められる時代といえます。



## 国民の力で憲法改悪を阻止しましょう。

ところが今の日本政府は、アメリカのイラク侵略戦争を支持し、軍事力を強化し続け、世界の流れに逆らっています。

アメリカ言いなりに「戦争する国」に突き進むべきではありません。今こそ、憲法を活かし、国連憲章を中心にすえた世界の平和秩序づくりを促進することこそ21世紀の日本の未来があります。

07年は、日本の未来が大きくかかった正念場の年です。「憲法9条を守れ」の声をよりいっそう大きく広げましょう。

憲法改悪のたくらみを阻止するたかひの主役は、私たち主権者・国民です。



憲法9条を守り、生かす声を広げましょう

京都自治労連

電話 075-801-8186

2007年 1月